

# 会 議 議 事 録 ( 抄 )

会 議 名	第二回 バイオ・環境系 教育課程編成委員会
開 催 日 時	平成 26 年 11 月 28 日 (金) 15 時 30 分～17 時 40 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール (第一部)、1001 教室 (第二部)
参 加 者	<p>外部委員：4 名 <span style="float: right;">内部委員・学内関係者：5 名</span></p> <p style="text-align: right;">(順不同・敬称略、役職は委員名簿参照)</p> <p>池上 正人 (NPO 法人日本バイオ技術教育学会／東北大学名誉教授)</p> <p>西村 実 (株式会社アイ・エス・ソリューション)</p> <p>堀内 貴之 (株式会社ネオ・モルガン研究所)</p> <p>皆川 剛 (水 ing 株式会社)</p> <p>&lt;外部委員：4 名&gt;</p> <p>大江 宏明 (学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ バイオテクノロジー科 科長、環境テクノロジー科科长、議長)</p> <p>松井奈美子 (学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ バイオテクノロジー 科、書記)</p> <p>井上綾子 (学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ 環境テクノロジー科)</p> <p>&lt;学内関係者・第一部参加者：2 名&gt;</p> <p>三上 孝明 (同 専門学校東京テクニカルカレッジ 校長、第一部のみ)</p> <p>白井 雅哲 (同 企画部長、第一部司会、第一部のみ)</p>
会 議 録	<p>&lt;第一部 全体会 (「情報・Web・ゲーム系教育課程編成委員会」と合同開催) &gt;</p> <p>開会の辞・スケジュール案内 (司会)</p> <p>1. 学園側関係者挨拶 専門学校東京テクニカルカレッジ校長 三上孝明</p> <p>2. 委員のご紹介</p> <p>3. 平成 26 年事業計画の進捗状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業実践専門課程、建築科夜間課程申請報告</li> <li>・教育訓練給付金制度 (専門実践教育訓練) 認定報告</li> <li>・環境・エネルギー分野における中核的専門人材養成プログラム開発事業、進捗報告</li> <li>・リアルジョブプロジェクト、進捗報告</li> </ul> <p>&lt;第二部 系別分科会&gt;</p> <p>1. 議長挨拶 (大江)</p> <p>2. 前回議事録確認 (大江)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ：命と健康を守る分析技術者・生産技術者</li> <li>環境：持続可能な社会づくりに貢献できる環境技術者</li> </ul> </li> <li>・現行科目等で強化すべき点 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 対策実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による対策講座は行えていない</li> <li>・内部講師による対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>計算補習 (公文式) などによる対策を行ったが、補習前・補習後の 共通試験を行っていないため効果判定に至らなかった</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>② 学生能力判断基準としての SG 式就職指導検査バッテリーの利用について <ul style="list-style-type: none"> <li>SG 式就職指導検査では、総合評価、言語能力、計算能力、空間判断力、 運動共応、形態知覚、書記的知覚といった判断項目がある。この判断項目 の点数と学内試験での結果に関連性があるか否かについて検討した。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul> <p>その結果、言語能力が低い学生は学内試験でも落伍科目が多いという関係 性を得られた。英語、電気、機械系の勉強よりもまずは言語能力を向上さ せるべきである。</p> <p style="text-align: center;">《指摘事項》評価軸をしっかりと作らなければならない</p>

3. 意見交換

【 議題① 】 言語能力を伸ばす方法

企業では言語を重要視した就職試験内容を実施している。  
また、適正検査の結果を重要とし、受験者の素養をはかりとっている。  
そのため、言語能力を向上させる対策は非常に重要だと思われる

対策：天声人語などを写経する

毎日 10 分間本を読ませる

パワーポイントのメモなどに発表内容文章を書かせる

試験問題に文章を書かせる問題を出題する

問題点：言語能力対策の評価基準を作成しなければならない

【 議題② 】 企業として特に教育してほしい項目

回答：虚偽の報告をしない

丁寧に作業（実験）を行う

4. 次回日程について（大江）

今年度はこの回にて終了。3月末で委員の任期が終了するが、来期も引き続き就任をお願いしたい旨伝えた。

5. 閉式の辞（大江）

17：40 終了

以上